

▼別ショットの写真



を惜しむように、生徒たちが恩師を囲んで写真撮影していました。卒業生たちの清々しい笑顔が印象的でした。

今月の表紙は、3月5日に行われた幸田中学校卒業式後に、卒業生が恩師と記念撮影している様子を捉えた1枚です。別れ

今月の表紙

みんなの
PAMA
広場

皆さんからのお便りをお待ちしています

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場企画政策課広報広聴G
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp ☎62-1111 (内線334)
FAX63-5139



はじめまして、詩舞 柳心流柳栄会の野口柳栄でございます。発足して22年、幸田文化協会には10年近くお世話になり大変喜んでおります。発足時に「伝統を重んじ会の和を大切に」の言葉を守ろうと掲げて、今日までまいりました。

おけいこは毎週月曜日の夜に六ツ美南部市民ホームと木曜日の午前中に自宅にてそれぞれ分かれて行っています。会員の皆さんは同じ趣味に向かい、おけいこの後の会話にも花が咲き、時が過ぎる

のを忘れます。この楽しいひとときが、皆さんが健康で長く続き、一緒に精進していけることを願うばかりです。

しだれ桜まつりに始まり、夏まつり、老人福祉センターの慰問、幸田文化協会の文化祭などいろいろな行事にも参加しており、今後も一生懸命つとめたいと思っております。これからもどうぞよろしくお願い致します。

問合せ 会主 野口 柳栄 ☎43-2496

サークル紹介

詩舞 柳心流柳栄会

この指とーまれ

147

みんなの作品展!

平成26年度 幸田町児童・生徒作品展 からのセレクトです。



幸田小2年 牧 瑞季さん



坂崎小2年 小森 飛輝くん

皆さんの作品を募集します。応募方法は、はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入の上、広報広聴Gまでお送りください(デジタル写真の場合はメールで!)

今月の記念日

4月8日は「タイヤの日」

春の全国交通安全運動が行われる4月と「輪(タイヤ)」をイメージした「8」の8日を組み合わせています。

自動車にとってタイヤの安全性は欠かせません。「タイヤの日」は、広く一般ドライバーにタイヤへの関心を喚起し、タイヤを正しい方法で使用してもらうことにより、交通安全に寄与することがねらいです。「タイヤの日」を中心に、一般社団法人日本自動車タイヤ協会などによるタイヤ点検も全国で実施されます。

2014年「タイヤの日」に行われたタイヤ点検では、乗用車や貨物などを含め、タイヤの整備不良車両は179台中41台。不良率は22.9%でした。2割強の車両で安全走行に不安があるという状況です。整備不良の内容をみると、乗用車は「空気圧不足」が1位。タイヤの空気圧不足による走行は、燃費の悪化につながるばかりではなく、タイヤ損傷の原因になります。タイヤの空気圧点検を定期的に実施し、安全運転に努めましょう。

※参考資料：一般社団法人 日本自動車タイヤ協会 <http://www.jatma.or.jp/>



青春トークリレー

△△△ 第265走者 △△△

そうだりか
左右田 莉花 さん

野場区在住 22歳 血液型 秘密
身長 秘密 職業 団体職員
好きなタイプ おもしろい人
好きな芸能人 岡田将生

みなさんこんにちは。わたしは3月に大学を卒業し、4月からは社会人として出発します。

大学での4年間、文学部に所属していました。そこで古典や近代文学など様々な日本文学や日本語の勉強をしてきました。小学生のころから国語の勉強が好きだった私にとって、大学での勉強はとても楽しく、大学で過ごした4年間は本当に貴重な時間となりました。

これからも様々な文学作品に触れていきたいと考えています。その際には多くの本がある幸田町立図書館も積極的に使用していきたいです。



はろーキッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。
希望者は企画政策課まで。



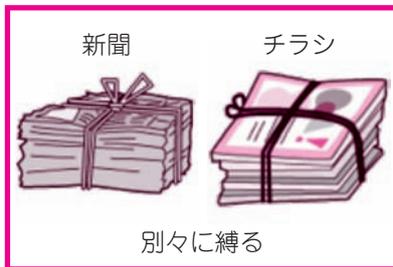
環境だより VOL.30

「新聞」と「チラシ」は一緒に縛って
排出できるようになりました！

資源回収等の古紙で、「新聞」と「チラシ」は今年度から、分けずに一緒に縛って排出できるようになりました。

なお、その他古紙(雑誌、段ボール、紙バック、ミックスペーパー)については、今までと同じ分別をお願いします。

今までは…



別々に縛る

今後は！



一緒に縛る

*詳細は、「家庭ごみの分け方・出し方(保存版)」のP8・9をご確認ください。

問合せ 環境課ごみ対策G(内線273)

久しぶりにあった友達から「やせたよね」と言われて、ちょっとした気分の編集者Kです。

3月は卒業シーズン。幸田高校の卒業式にお邪魔しました。在校生代表の送辞が立派で驚いたところに、卒業生代表の答辞がさらにすばらしくて、思わず涙が…。自分のつらかった体験やそれを乗り越えて得たもの、両親への感謝の気持ちを、あの場面で言葉にできるなんてすごいなと感動しました。卒業生が退場した後に、先生が卒業生の保護者に伝えた言葉にも感動。感動の連続でした。

幸田中学校の卒業式では、裏方の先生たちがイヤホンを付けて、進行の段取りを無線でやり取りしているのを見てびっくり。敵かな雰囲気です。終わった後は、校庭で友達や恩師との記念撮影が始まり、そしていつまでも終わらない…。恩師に肩を抱かれて男泣きする姿もありましたが、笑顔いっぱい友達や先生との別れを惜しんでいました。青春っていいなと感じた3月の取材活動でした。

そんなわけで、4月、新しい年度がやってきました。1年間の経験を経て、より良い広報づくりができるように頑張りたいと思います。(K)

